

進路室だより④

入試制度 模試 編



今回は2本立て！！
入試制度と模試について

●入試制度

大学入試制度は多様化しており、その形態は「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」などに分けられます。

形態	特徴
一般選抜	(国公立大) 大学入学共通テスト(1月)と大学独自の個別学力検査(2～3月)をもとに、調査書や小論文、本人記載の資料などから多面的・総合的に評価・判定される。 (私立大) 3教科の受験が基本となる。 文系は外国語と国語が必須で、地歴・公民・数学から1教科を選択する。 理系は数学・理科・外国語の3教科が基本である。
総合型選抜	旧 A0 入試で、出願に校長の推薦が不要。「アドミッションポリシー」に基づいた「求める学生像」と受験生がその学校で「学びたいこと」が合うかどうかポイントになる。 小論文やプレゼン、口頭試問等または共通テストのいずれか、または複数を必須化。学力的要素のある試験も実施される。 9月以降出願、11月以降合格発表。
学校推薦型選抜	「公募制推薦」と「指定校推薦」に分けられ、校長の推薦が必要。 最も多いのが「書類審査」+「面接」+「小論文」。小論文の代わりに口頭試験や学科試験が課せられることもある。 11月以降出願、12月以降合格発表。

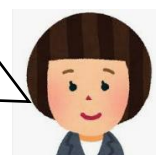
どの形態においても、学力、調査書、志望理由書ともに重要です。

国公立大学の学校推薦型・総合型選抜の入学者割合は、入学者全体の約 20.9% (今後は 30%程度まで増やす予定)。私立大学でもその割合は 58.2% (2021 年度入試)



そんなにたくさんの生徒が総合型や学校推薦型で入るのなら、僕も挑戦してみようかな。でも準備に時間がとられて、共通テストの勉強時間が減ってしまうかも・・・。

大丈夫です！総合型・学校推薦型選抜を受験した生徒は、共通テストの点数の伸びが大きいというデータがあります。早くから志望大学を決めてそれに向かっていく気持ちは、学力を伸ばしていくエネルギーとなるのです。また、学校推薦型・総合型選抜のために準備して得た力は、大学に入ってから大きく役立つものです。まずは志望大学を決め、入試制度について調べましょう。



●模試について

高校入試は鳥取県の人たちとの競争でしたが、大学受験や就職など高校から次のステップに進む時には、全国の人たちとの競争になります。

そこで重要になってくるのが **模 試** です。

学校の定期テストでは、単元ごとの自分の学習到達度をはかっています。

しかし、模試は全国の中での自分の実力をはかっています。

模試をちゃんと受けたら...

- ➡ 自分の実力の正しいデータが手に入る
- ➡ 志望先の決定がスムーズに！

今持っている力を出し切って
模試を受けよう！

7月の進研模試の結果が返ってきました。以下のような順序で振り返りをしましょう。

1年生は...

- ① 得点や偏差値、順位などから全国レベルでの自分の学力を確認する。
- ② 全国平均と比較することで、教科ごとの学力を把握する。
教科のバランスを見て、図形がいびつな場合は原因を考える。
- ③ 全国平均と比較することで、分野ごとの得意・苦手を把握する。

2年生は...上の①～③に加えて、

- ④ 過去のテストの成績推移を確認する。
- ⑤ 志望校成績を確認し、これからどんな学習に取り組むかを考える。

3年生は...上の①～③に加えて、

- ④ 過去のテストの成績推移を確認し、波があれば原因を考える。
第1志望校の合格者平均と比較する。
- ⑤ 志望校の合格可能性を確認する。
裏面にある、設問別成績や志望校攻略のポイントを見て、対策を立てる。

以下は皆さんに知っておいてほしいことです。

★英語は必須！！

英語は大学では必修科目です。今使用している英語の参考書等をなくしてはいけません。

(専門学校・公務員・就職はなおさら社会で必要となります。)

★大学入学共通テストは、ほとんどの進学希望者が受験します。内容も1, 2年で習ったことが大半です。1, 2年生は今から共通テストに向けて勉強をスタートしましょう。3年生はここからもうひと踏ん張り。体調崩さないようにしっかり頑張りましょう。

大学情報は進路室前の掲示板に掲載中！！
(更新頻度高め)
さあ、今すぐ進路室前へ行こう！！

